製品安全データシート

混合物（塗料用）

作成日　2016 年 10 月 21 日

整理番号　BMJ511

１　製品及び会社情報

製品名	ベンジャミンムーア　511 ナチュラ　プライマー
会社名	ベンジャミンムーアペイント社（B.M.ジャパン株式会社）
住　所	〒162-0843　東京都新宿区市ヶ谷田町 1-19
担当者	長張
電話番号	03-6440-0812
ファックス	03-6440-0813
メールアドレス	info@benjaminmoore.co.jp
担当部門	上記に同じ
緊急連絡先	上記に同じ
製品の種類	アクリル樹脂系合成樹脂エマルションペイント
主な用途	建築用塗料

２　危険有害性の要約

［GHS 分類］

急性毒性　経口：区分外、経皮：区分外、吸入（ガス）：区分外、（蒸気）：区分外、（粉塵、ミスト）：区分外、皮膚腐食性／刺激性：区分外、目に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分 2、呼吸器感作性：区分外
皮膚感作性：区分外、生殖細胞変異原性：区分外、発がん性：区分外、生殖毒性：区分外、授乳の対する、または授乳を介した影響：区分外、特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）：区分 3、特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）：区分外、吸引性呼吸器有害性：区分外、水性環境有害性（急性）：区分外
水性環境有害性（慢性）：区分 4

［GHS ラベル要素］

［絵表示］　感嘆符

［注意喚起語］　警告

［危険有害性情報］

・強い眼刺激

・呼吸器への刺激のおそれまたは眠気及びめまいのおそれ

・長期的影響により水生生物に有害のおそれ

［注意書き］

《予防策》

保護眼鏡／保護面を着用すること。

屋外または換気の良い所でのみ使用すること。粉塵／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避ける事。
環境への放出を避ける事。
《応急措置》
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う事。次にコンタクトレンズを着用していて用意に外せる場合は外す事。その後も線上を続ける事。眼の刺激が続く場合には、医師の診断／手当を受ける事。取り扱った後、手を良く洗う事。気分が悪い時には医師に連絡する事。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させる事。
《保管》
容器を密閉して、換気の良い所で保管する事。
《廃棄》
内容物／容器を廃棄する場合は、（都道府県／市町村の規制に従って）許可を受けた廃棄業者によって廃棄する。
３　応急措置
《眼に入った場合》
・直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて安易に外せる場合は外す事。まぶたの裏まで完全に洗う事・出来るだけ早く医師の診断を受ける事。
《皮膚に付着した場合》
・付着物を布で素早く拭き取る・大量の水及び石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流す。溶剤、シンナー等は使用しないこと。
・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける事。
《吸入した場合》
・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
《飲み込んだ場合》
・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける事・嘔吐物は飲み込ませない事・医師の指示による以外は無理に吐かせない事。
４　火災の措置
《使用可能な消火剤》
水［○］、炭酸ガス［○］、泡［○］、粉末［○］、乾燥砂［○］
《消火方法》
このものには可燃性はない。
５　漏出時の措置
・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。・漏出時は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す・スコップ、ウエスなどで回収する。大量の流出には盛り土等で囲って流出を防止する。水での洗浄なども、河川等へ排出されると環境汚染を引き起こす恐れがあり注意する事・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する事。
６　取扱い及び保管上の注意
《取扱い上の注意》
・換気の良い場所で取り扱う。・容器はその都度密栓する。・取扱い後は、手、顔等を良く洗い、休憩所等

に手袋等の汚染保護具は持ち込まない。

《保管上の注意》

・日光の直射を避ける。・通風の良い所に保管する。

７　暴露防止及び保護措置

《設備対策》

特別に必要ない。

《保護具》

眼の保護　　：取扱いには保護眼鏡を着用する事。

皮膚の保護　　：化学薬品が浸透しない手袋を着用する。

呼吸器系の保護：防塵マスクを着用する事。

その他の保護具：なし

８　物理的及び化学的性質

状態：(容器中) 液体

色：各色、臭気：特になし、PH 値：データなし、融点：該当せず、沸点：データなし、引火点：なし、発火点：データなし、爆発限界：データなし、蒸気圧：データなし、蒸気密度：データなし、密度（比重）：1.2、溶解度：データなし、n-オクタノール／水分配係数：データなし、分解温度：データなし、その他：特になし

９　安定性及び反応性

《反応性・安定性》

接触により危険性のある物質：特に情報を有していない・燃焼などによる有害性ガスの発生：このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合には CO などの有害性ガスを発生する恐れがある・その他の反応性情報：普通の条件では反応性はない

《その他の危険性情報》

特になし

１０　有害性情報

混合物製品としてのデータはないため、成分単品のデータを示す。

急性毒性　経口（ラット)、径皮（ラット)、吸入（ガス）(ラット)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性　二酸化チタン：区分２B

特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）　二酸化チタン：区分３

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

《組成物質に関するその他の有害性情報》

特になし

《製品に関する有害性情報》

製品としての安全性試験は行っていない。

１１　環境影響情報

・生態毒性：混合物としてのデータなし・残留性・分解毒性：混合物としてのデータなし・生態蓄積性：混合物としてのデータなし・土壌中の移動性：混合物としてのデータなし・水生環境有害性（慢性)：二酸化チタン　区分４・漏洩、廃棄等の際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。

特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する事。

１２　廃棄上の注意

《残余廃棄物》

・廃塗料、当期の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約（マニフェスト）をして処理する・容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない事・廃水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託する事。

《汚染容器及び包装》

・空容器は内容物に完全に除去してから処分する。・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。

１３　運送上の注意

《共通》

・取扱い及び保管上の注意事項に従う事・容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷が内容に積み込み、荷崩れ防止を確実に行う事。

《陸上輸送》

・関係法規には該当しない・荷送り人は運送業者に運搬注意書を交付する事。

《海上運送》

・船舶安全法には該当しない。

《航空法関係》

・航空法には該当しない。

《指針番号》　該当なし

《国連番号》　該当なし

１４　適用法令

関係法規には該当しない。

１５　その他の情報

主な引用文献

・(社) 日本塗料工業会 GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック【混合物（塗料用)】・(社) 日本塗料工業会編　(原材料データベース)・溶剤ポケットブック・危険防災救急便覧・国際化学物質安全カード・NIOSH[RTECS]・化学工業日報社「化学品安全管理データブック」・日本科学会編「化学防災指針集成」・GHS 対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック暫定版（社) 日本塗料工業会編・JIS　Z7250:2005

・(社) 日本塗料工業会　データベース・ベンジャミンムーアペイント社 MSDS・NITE ホームページ

［注意］

本データシートの記載内容は最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅しているものではなく、また、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。混合物に使用している化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。